

検査の日程

日時 6月10日(水)～7月3日(金)午前中
(6月19日・20日と日・月曜日は除く)

場所 文化会館(YLLO会館)

申込方法

電話で市役所保健環境課健康管理係までお申し込みください。後日問診票などを郵送します。

ただし次の方々は、問診票が郵送されますので申し込みの必要がありません。

▼ 平成9年度に成人病総合検診を

受診された方

▼ 昭和13年4月1日～昭和14年3月31日

生まれの方

▼ 昭和23年4月1日～昭和24年3月31日

生まれの方

▼ 昭和33年4月1日～昭和34年3月31日

生まれの方

※受付時間は待ち時間を少なくするため、こちらで決めさせていただきます。

総合検診の概要

青 年期から壮年期の方は、社会的には働き盛りで地域や家庭の中心的役割を担うなど、社会基盤・生活基盤を創っていく最も重要な時期です。それに伴い、不規則な日常生活、睡眠不足、運動不足、精神的・肉体的ストレス、疲労の蓄積、過度の喫煙、飲酒など多種多様な健康を阻害する危険因子が引き金となって、生活習慣病の発症など様々な健康障害が現れはじめます。

こ のような現状にもかかわらず、検診を受けてもその場限りになってしまい自覚症状がなければ行動を起こさないなど、自分の健康状態についての自覚が乏しく、健康への関心が低い傾向にあります。普段から健康管理に心がけ、充実した生活をいつまでも送れるようにと自己管理に関心を持つことが大切です。

で は、最近の総合検診の現状についてふれてみましょう。総合検診の受診率は横ばいで、受診者の固定化がみられます。男女とも年齢が高くなると、総合検診を定期的に受けている人の割合が増えてきます。

検 診の結果、異常がみられた方の各種がん検診の精密検査受診率については、胃がん、大腸がん、肝臓がん検診は年々減少しており、肺がん検診は横ばい、乳がん検診は増加、子宮がん検診は過去五年間一〇〇％の受診率になっています。

せっかく総合検診を受けても、精密検査を受けなくては、治る病気も治らなくなり、取り返しのつかないことになってしまいます。

てしまします。
が ん、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病は、全国で総死亡の六一・三％、山梨県では五八・七％、都留市では五七％を占め、今後は高齢化が進むにつれて増加が予想されます。

早 期発見、早期治療のために六月十日から始まる「生活習慣病総合検診」を受けましょう。

総合検診で異常が認められた地区別の数字は次のとおりです(平成8年度の結果)

単位：人

	上 谷	下 谷	東 桂	禾 生	三 吉	開 地	宝	盛 里
基本検診受診者数	4 7 7	5 4 7	7 9 2	5 2 4	1 7 2	2 0 2	1 6 2	1 0 6
体 脂 肪 率	1 3 1 30.6%	1 6 4 30.0%	2 2 6 28.5%	1 6 5 31.5%	5 8 33.7%	7 6 37.6%	4 9 30.2%	4 6 43.4%
総コレステロール	1 2 7 29.7%	1 8 0 32.9%	2 0 5 25.9%	1 6 4 31.3%	4 9 28.5%	5 9 29.2%	4 9 30.2%	2 6 24.5%
中 性 脂 肪	7 3 17.1%	8 9 16.3%	8 8 11.1%	8 6 16.4%	2 3 13.4%	3 4 16.8%	2 3 14.2%	2 0 18.9%
HbA1c (糖尿病)	1 6 3.7%	3 9 7.1%	3 8 4.8%	2 9 5.5%	9 5.2%	1 0 5.0%	1 4 8.6%	9 8.5%
GPT (肝機能)	3 0 7.0%	3 4 6.2%	4 7 5.9%	4 0 7.6%	1 3 7.5%	1 7 8.4%	1 1 6.8%	7 6.6%
γ-GTP (肝機能＝アルコール性)	3 4 8.0%	5 0 9.1%	5 5 6.9%	4 4 8.4%	1 0 5.8%	1 9 9.4%	1 2 7.4%	1 1 10.3%
血 色 素 量	3 6 8.4%	6 0 11.0%	6 9 8.7%	5 4 10.3%	1 0 5.8%	1 9 9.4%	1 4 8.6%	6 5.7%